

令和6年度

一般社団法人山梨県理学療法士会

定期総会議事録

日時：令和6年6月12日（水）19：00～21：00

場所：大木記念ホール

議長：秋山侑大、嶋津栄伸

書記：笠井裕子

議事録署名：笹本高央、清水真治

役員出席者

（理事）磯野賢、高村浩司、三科貴博、小林司、
北山哲也、有泉静佳、井村順治、渡邊修司、
鮎川将之、菊池信、古屋伴仁、鈴木聡、大西
正紀、平賀篤、

（監事）谷村英四郎、齋藤智雄

事務管理局：小林泰彦

選挙管理委員：三浦博美

1. 定足数報告

5月20日時点での正会員数918名のうち、出席者数44名、委任状提出者588名。よって、正会員数の過半数以上の出席、委任状数に達しているため定款第21条に則り今総会が成立することが報告された。

2. 開会のことば（三科副会長）

お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。昨年コロナが第5類に移行され、士会の活動が徐々にコロナ禍前に戻りつつあります。議案数が多くなっていますが活発なご審議をしていただけるようご協力をお願いします。

3. 磯野会長挨拶

お忙しい中、仕事終わりのお疲れの中、本総会にご出席いただき誠にありがとうございます。日頃より当士会の活動にご理解、ご協力いただき心から感謝申し上げます。今回、久しぶりに対面で総会を開催することができ嬉しく感じています。

当士会のテーマとして皆が参加、協力、運営し、一体となることを掲げてきました。他の都道府県と比べて1000人足らずの小さな士会ですので、持続させていくためには多くの会員の皆様の協力が不可欠となっています。

昨年コロナが第5類に移行され、少しずつ以前の活動が行えるようになってきました。理学療法士として非常に大切にしてきた対面での研修や、学会を始められるようになってきました。今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

また、昨年度から支部活動を始めてきました。横のつながり、小さなつながりをできるだけ広げてい

く中で、県士会としての力をつけて運営をめざしていきたいと思っています。

政策を考える政治活動が昨年から少し始まってきたように思います。我々の代表である田中まさし参議院議員が繰り上げで当選となりました。また、県内出身の自由民主党議員に、県士会の活動を説明する機会をいただくことができました。診療報酬の改訂をみて、三職種の処遇改善を求めてきましたが、十分に得られてはいないと思います。しかし、我々の代表が議員としていない限り、今後も改善は難しいことが明らかになったのではないかと思います。今後も改善に向けて継続的に取り組んでいきたいと思っています。

総会というものは県士会にとって最高の決定機関であります。忌憚ない意見をいただき、県士会が少しでも前に進めるようにしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

4. 議長選出

参加者から議長1名、副議長1名の立候補・推薦を募ったが、立候補及び推薦がなかったため、執行部から以下のとおり議長、副議長を推薦した。

・議長

山梨県長寿福祉課 秋山侑大先生

・副議長

山梨県立あけぼの医療福祉センター 嶋津栄伸先生
※拍手多数で承認された。

5. 書記任命

山梨県立あけぼの医療福祉センター 笠井裕子先生

6. 議事録署名人任命

山梨県立あけぼの医療福祉センター 笹本高央先生
石和温泉病院 清水真治先生

7. 議事

1) 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告

・令和5年度事業報告について、各局長より資料に沿って報告。

令和5年度事業報告書の期間の訂正

誤) 令和5年4月1日～令和6年9月30日

正) 令和5年4月1日～令和6年3月31日

・決算報告について、有泉事務管理局長より資料に沿って報告。

支出の部

対面での講習会が多かったため、予算額よりも会場費などの支出が低くなっている。

2) 第2号議案 令和5年度監査報告（齋藤監事）

監査方法は、監事間の協議により監査方針を定めた上で各種調査を行い、その結果を幹事間で協議して監査を実施した。①事業報告及び付属明細書、②理事の職務の遂行、③当法人の理事会の決議、④計算書類及び付属明細書、⑤感染対策を講じた中で

の対面事業、⑥デジタル化やマニュアルの整備 ⑦事前参加申し込みが極端に少ない場合の開催の是非⑧委託事業の中で士会事業への移行検討⑨第 44 回関東甲信越ブロック理学療法士学会開催並びに 50 周年記念誌作成に際しての士会員の更なる協力、以上について適正に施行されていることを確認した。

- ・第 1 号議案、第 2 号議案ともに質疑応答なし
- ※拍手多数にて第 1 号議案および第 2 号議案承認される。

3) 第 3 号議案 役員改選 (三浦選挙管理委員長)

一般社団法人山梨県理学療法士会定款第 31 条及び 31 条 2 項により、今年度が役員の改選期となる。

一般社団法人山梨県理学療法士会役員 (理事・監事) 候補選挙管理規定第 5 条に則り、5 月 16 日に告示した通り、理事 14 名、監事 2 名の立候補があった。この結果、同規定第 8 条により無投票当選となる。

- ・理事
鈴木 聡、平賀 篤、磯野 賢、有泉 静佳、大西 正紀、菊池 信、小林 司、山下 浩樹、鮎川 将之、高村 浩司、渡邊 修司、井村 順治、古屋 伴仁、上田 修
- ・監事
谷村 英四郎、斎藤 智雄

一般社団法人山梨県理学療法士会役員候補選挙管理規定より理事及び幹事候補に当選した方については、一般社団法人山梨県理学療法士会定款第 28 条に基づき、総会の決議によって理事及び監事に正式に選任される。

- ※拍手多数にて上記の理事・監事は承認される。
- ※理事 14 名及び監事 2 名は、その場で理事及び監事への就任を承諾した。

一時、休会 (休会中に令和 6 年度第 1 回理事会を開催)

- ・理事会の結果報告
有泉事務管理局长：理事会で審議した結果、代表理事には磯野賢先生を選出。併せて、副会長については、一般社団法人山梨県理学療法士会定款第 28 条 3 項により会長が指名し理事会の承認を得ることとなっている。副会長について、先ほどの第 1 回理事会にて磯野会長が高村浩司先生、井村順治先生、小林司先生、有泉静佳先生を指名し理事会の了承を得られた。
- ・磯野賢新会長挨拶：コロナで士会活動が縮小されたが、徐々に活動が再開されてきた。今後も拡大していきたい。新しい県士会としての情報発信として X を導入した。できるだけリアルタイムなものとして今年度も進めていきたい。

関東甲信越ブロック第 44 回理学療法士学会が来年少山梨県士会が当番となり開催される。昨年より準備委員を立ち上げ進めている。

士会支部活動には各施設の長の方へ出席していただき活動を広げていきたい。

士会の組織に関しては、次回の理事会後に会員の皆さまに示していきたい。各都道府県ともに士会員の減少が進んでいる。士会運営として現状の会員数を維持して効率化を進め、個人の負担を軽減した士会の活動を維持していきたい。次の世代に士会を繋げていくことが最大の使命であると考えている。課題は多いが皆さまに協力していただき活動を運営していきたい。

4) 第 4 号議案 令和 6 年度事業 (案) 及び予算 (案)

- ・令和 6 年度事業 (案) について、本来ならば各担当局長から報告をするが、本年度は役員改選時期であるため、事務局から一括報告となる。令和 6 年度事業案に記載されている「特別委員会」は削除する。
- ・令和 6 年度予算 (案) について、事務管理局の有泉局長より資料に沿って提案。

収入の部

- ・士会費収入の一般会員 937 名 (令和 6 年 3 月末会員数) に訂正

支出の部

- ・士会組織検討委員会の 10,000 円が削除されるので修正して今後、報告する。
- ・質疑応答なし
- ※拍手多数にて第 4 号議案は承認され資料の (案) が削除される。

5) 第 5 号議案 令和 6 年度組織改編の報告

2022 年に特別委員会である士会組織検討委員会を立ち上げ検討を行ってきたが、この度、同委員会から組織改編 (案) が提示された。

これに伴い令和 6 年度の事業 (案)、予算 (案) については、新しい組織に対応して組み換えを行う事となるため今総会にて総会資料の通り報告したが、後日修正した予算 (案) については HP にて報告する。旧組織からの事業や予算は新組織の対応する部署に引き継ぎ、その内容と予算額の変更はない。

6) 第 6 号議案 名誉会員に関する件

名誉会員規定に基づき表彰委員会から次に挙げる 2 名の会員の理事会への推薦がおこなわれた。

- ・名誉会員推薦者
藤本欣也 先生
谷村英四郎 先生
- ※拍手多数にて承認。

一般社団法人山梨県理学療法士会名誉会員規定
第4条により、すでに納付済みの令和6年度分会費
は返金する。

7) 第7号議案 その他（報告のみ）

- ・一般社団法人山梨県理学療法士会、局、部、委員
会等名簿
- ・山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の事
項

8. 議長解任

9. 閉会のことば（北山副会長）

みなさまのご協力で無事に総会を終えることができ
ました。

*2024年能登半島地震の被災者に向けて黙祷。

50年以上続いた士会は偉大な先輩、士会の皆さまによ
って成り立っています。今後ご指導、ご鞭撻のほどを
よろしく願いいたします。

以上をもちまして令和6年度一般社団法人山梨県理学
療法士会総会を終了とさせていただきます。皆さま遅く
まで御協力ありがとうございました。